

国際危機管理シンポジウム

2008年9月13日(土)～16日(火)

千葉科学大学にて
(千葉県銚子市)

プログラム

インフルエンザパンデミックに対する危機管理

食品の安全と危機管理

医療過誤防止とその対策

院内感染とその予防

環境汚染と危機管理

火災と危機管理

放射線汚染とその危機管理

生物、化学物質事故とその予防対策

プレシンポジウム

同時開催：「知っておきたい感染症とその危機管理」

9月13日(土) 13:30 - 17:30

詳細は、大会ホームページにて

www.cis.ac.jp/~sympo

大学から望む“海に浮かぶ富士山”

水郷筑波国定公園“屏風ヶ浦”

お問い合わせ先

CIS シンポジウム 2008 組織委員会

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町 15-8 千葉科学大学内

E-mail: sympo@cis.ac.jp、ホームページ: <http://www.cis.ac.jp/~sympo>

大学からの眺め“水郷筑波国定公園(屏風ヶ浦)”

組織委員会からのメッセージ

近年、鳥インフルエンザ、マラリア、SARS などの高リスク感染症、食品汚染、医療過誤、環境汚染、津波、地震、火災、放射線汚染、生物・化学物質事故などの重大な事件・事故が数多く発生しています。これら自然発生的、偶発的、人為的に生じる事件・事故を未然に防止する、もしくは、被害を最小限にするための危機管理に関する議論は非常に重要な事でありま。

一方、本シンポジウムが開催される千葉科学大学は、日本で初めて危機管理学部が設置され、防災や環境、医療の面から暮らしの安全を守る人材の育成を目標としております。

したがって、先に述べた重大な事件・事故に関する知識を共有し、その防止法および対処法について議論し、産学官の連携を深める観点から本シンポジウムを開催します。

主催

CIS シンポジウム 2008 組織委員会

会長： 加計 孝太郎 (学校法人加計学園理事長)

副会長： 平野 敏右 (千葉科学大学学長)

組織委員長： Anthony T. TU
(コロラド州立大学名誉教授、千葉科学大学客員教授)

組織委員： 大高 泰靖、加藤 宝光[§]、木村 栄宏、熊取 厚志、高 黎静、小林 照幸、斎藤 彌、酒井 明、地下 まゆみ、柴原 壽行、武田 光志、照井 祐介、永淵 修、浜名 洋、藤谷 登、藤本 一雄、藤本 正文、星 善光、細川 正清、増澤 俊幸、三浦 剛、三村 邦裕、森 雅博、横田 久里子
([§]放射線医学総合研究所、^{§以外}千葉科学大学)

秘書長： 浜名 洋

秘書： 森 雅博、大高 泰靖

協賛・スポンサー

千葉科学大学

後援

日本化学会

日本危機管理学会

日本薬学会

地域安全学会

人と動物の共通感染症研究会

日本臨床検査学教育協議会

NPO法人 日本リスクマネジャー&コンサルタント協会

NPO法人 防災・危機管理教育協会

開催日時・場所

日時：2008年9月13日(土)～16日(火)

場所：千葉科学大学(マリーナキャンパス)

住所：千葉県銚子市潮見町15-8

プログラム(講演者)

特別講演(9/15午後)

・喜田 宏(北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター)

インフルエンザパンデミックに対する危機管理に関して

・大槻 公一(京都産業大学鳥インフルエンザ研究センター)
・岡部 信彦(国立感染症研究所感染症情報センター)
・押谷 仁(東北大学大学院医学系研究科)
・土井 幹雄(茨城県保健予防課)
・堀本 泰介(東京大学医科学研究所)

食品の安全と危機管理に関して

・圓藤 吟史(大阪市立大学大学院医学研究科)
・香山 不二雄(自治医科大学地域医療学センター)

医療過誤防止とその対策に関して

・谷野 忠嗣(塩野義製薬CMC開発研究所製剤研究部)
・平本 慎次(塩野義製薬工業技術研究所技術開発室)

院内感染とその予防に関して

・江本 正志(群馬大学医学部保健学科)
・中沢 武司(順天堂浦安病院臨床検査科)
・高野 八百子(慶應義塾大学病院)
・中沢 武司(順天堂浦安病院臨床検査科)
・宮地 勇人(東海大学医学部基盤診療学系)

環境汚染と危機管理に関して

・内山 巖雄(京都大学大学院工学研究科)
・小泉 昭夫(京都大学大学院医学研究科)

火災と危機管理に関して

・Lo, S. M (City University of Hong Kong)
・Timothy J. Murphy (米・University of Findlay)
・鶴田 俊(消防大学校消防研究センター特殊災害研究室)

放射線汚染とその危機管理に関して

・加藤 宝光(放射線医学総合研究所重粒子医科学センター)
・松本 孔貴(千葉大学医学薬学府先進医療科学専攻)

生物、化学物質事故とその予防対策に関して

・David R. Franz (米・Midwest Research Institute)
・David Trudil (米・New Horizons Diagnostic Corp)
・Chang Yu-Tai (台湾 医師)
・三好 和人(東京消防庁)

問い合わせ先

CIS シンポジウム組織委員会

千葉県銚子市潮見町15-8番地 千葉科学大学内

Eメール：sympo@cis.ac.jp

FAX：0479-30-4706

プログラム

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00
9/13 (土)					受付時間 12:00pm – 6:30pm			プレシンポジウム「知っておきたい 感染症とその危機管理」 1:30pm – 5:30pm			ウェルカム レセプション 6:00pm – 8:00pm			
		企業展示 (準備時間)			企業展示									
9/14 (日)		受付時間 8:50am – 5:00pm												
		開会 式 9:30	講演 & 口頭発表 (2会場制) 9:45am – 12:30pm		ポスター発表 & 昼食		講演 & 口頭発表 (2会場制) 2:30pm – 5:30pm							
		ポスター 貼付	企業展示 & ポスター展示											
9/15 (祝)		受付時間 8:50am – 4:00pm												
		講演 & 口頭発表 (2会場制) 9:30am – 12:15pm		ポスター発表 & 昼食		特別講演 2:15pm –	イベント – 4:30pm					懇親会 (近隣のホテルにて) 6:30pm – 8:30pm		
		企業展示 & ポスター展示					撤去時間							
9/16 (火)		受付時間 8:50am –												
		講演 & 口頭発表 (2会場制) 9:30am – 12:15pm		閉会 式 12:20										

企業展示

企業展示に参加希望の企業のみなさまは、大会ホームページをご覧ください。

発表募集

組織委員会では、口頭あるいはポスターによる発表を行う発表者の募集を行っております。ただし、発表の採否および発表形式は組織委員会で決定します。

発表募集要項は、大会ホームページに詳細を記載しております。また、以下に抜粋を記載しております。

講演分野

発表を次の8つのセッションに分けて行います。

- ・ インフルエンザパンデミックに対する危機管理
- ・ 食品の安全と危機管理
- ・ 医療過誤防止とその対策
- ・ 院内感染とその予防
- ・ 環境汚染と危機管理
- ・ 火災と危機管理
- ・ 放射線汚染とその危機管理
- ・ 生物、化学物質事故とその予防対策

発表形式

<口頭発表> 発表時間 (討論時間を含む) は 15 ~ 20 分、液晶 (PC) プロジェクターの使用。

<ポスター発表> ポスターの掲示は、9月14、15日の終日とし、示説は1時間を予定しています、掲示スペースは900mm×1800mm。

発表申し込み方法

発表申込書 (ホームページにあり) にご記入の上、2008年4月15日までにEメールまたは郵送によりお送りください。なお、発表申し込みは、参加登録 (事前登録) を条件としております。

www.cis.ac.jp/~sympo

要旨の記載要項

要旨はA4用紙1枚とし、英語での記載となります。また、発表者の希望により、英文要旨の下部に、和文要旨を記入することが可能です。

申込期日一覧



参加費

	事前登録 (2008/7/15 以前)	当日登録 (2008/7/16 以降)
一般参加者	15,000円	20,000円
法人登録	100,000円 (10名様まで)	
学生登録	5,000円	
懇親会	5,000円	

(注) 本シンポジウムに参加登録されることで、プレシンポジウムに無料で参加できます。参加費 (学生登録を除く) には、昼食代 (お弁当) が含まれます。

イベント

プレシンポジウム

日時：9/13 (土) 13:30-17:30

場所：千葉科学大学

詳細は、本ページの下部をご覧ください。

ウエルカム・レセプション

日時：9/13 (土) 18:00-20:00

場所：千葉科学大学

懇親会

日時：9/15 (月) 18:30-20:30

場所：近隣のホテルの予定

参加登録の取消

参加登録を取消す場合は、大会事務局に書面にて申し出て頂くことにより可能となります。なお、払戻金は、以下に示す取消手数料および振込手数料を参加登録費用から差し引き、ご指定の銀行口座に振り込みさせていただきます。

<取消手数料>

2008年7月15日まで：登録費用の30%

2008年7月16日以降：登録費用の100%

会場までの交通手段

東京駅 - 銚子間

電車 (特急しおさい：JR 総武本線)

所要時間：1時間45分

高速バス (千葉交通)

所要時間：2時間～2時間半 (ルートにより)

出発間隔：毎時約3本

大学までの直通バスもあります

銚子駅 - 千葉科学大学間

シャトルバスを運行予定 (朝、夕のみ)

路線バス (10分)

宿泊施設

大会ホームページにて宿泊施設 (銚子市内・犬吠崎温泉街・周辺地域) を紹介しております。数に限りがございますので、お早めにご予約ください。



プレシンポジウム “知っておきたい感染症とその危機管理” ～今、私たちにできること～

日時： 2008年9月13日 (土) 13:30 - 17:30

開催場所： 千葉科学大学 (マリーナキャンパス)
千葉県銚子市潮見町 15-8

参加費： 前売り 4,000円、当日 5,000円
(ただし、本シンポジウムに参加登録された方は無料となります)

申込方法： 大会ホームページをご参照、または、大会事務局まで

講演内容&講演者：

「京都府における高病原性鳥インフルエンザの防疫対応について」 上村 浩一 (京都府農林水産部)

「日本で発生した鳥インフルエンザとアジアで発生している鳥インフルエンザ」

大槻 公一 (京都産業大学)

「はしかが大学生で流行、なぜ？」

岡部 信彦 (国立感染症研究所)

「ノロウイルス感染症の現状と予防策」

西尾 治 (元国立感染症研究所)

「BSE (いわゆる狂牛病) と危機管理対応について」

吉川 泰弘 (東京大学)

お問い合わせ先：

C I Sシンポジウム組織委員会 事務局

千葉県銚子市潮見町 15-8 千葉科学大学内

Eメール：sympo@cis.ac.jp、FAX：0479-30-4706

犬吠崎灯台 (銚子)